

第70回 ここからカフェ九品仏

朗読で広がる作品世界
読んで聴いてひと時をご一緒に

日時：2024年1月20日（土）
10:00～11:45

講師：「ことばの舟」 高村花美さん他
参加費：300円 ※要予約
会場：九品仏複合施設 2階
予約連絡先：090-3961-8514（湯澤）

第95回 お隣さまお茶会

ヴァイオリンとピアノコンサート

日時：2024年1月15日（月）
13:30～15:30

会場：スペースえんがわ inn
講師：violin：近藤淳子さん
piano：橋本侑布子さん
参加費：500円 ※要予約
申し込み・問い合わせ
TEL. 03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

玉田シニアサロン

未定

日時：2024年1月14日（日）
14:00～16:00

会場：玉川田園調布会館
参加費：500円 どなたでも
申し込み・お問い合わせ
TEL. 03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

ハウスの会員数

特別正会員 6名
正会員 26名
ニュース会員 62名



12 ハウススケジュール フレイバック

- 6日（水） プレーリヤカーでの公園遊び／奥沢（タイヤ）公園
- 7日（木） 楽多の会定例会／デイ・ホーム玉川田園調布
- 8日（金） 玉川まちづくりハウス定例運営委員会&総会
／スペースえんがわ inn
- 10日（日） 玉田シニアサロン／玉川田園調布会館
- 11日（月） お隣さまお茶会 vol. 95 中止
住宅まちづくり総合相談／世田谷総合支所
- 13日（水） プレーリヤカーでの公園遊び／奥沢（タイヤ）公園
- 14日（木） 住宅まちづくり総合相談／玉川総合支所
- 16日（土） ここからカフェ九品仏 vol. 69／九品仏地区会館地下
せたがや防災 NPO アクション勉強会／うめとびあ研修室
- 19日（火） プレーリヤカーでの公園遊び／ねこじゃらし公園
- 20日（水） 街角保健室+ COZY 食堂／スペースえんがわ inn
- 24日（日） タマデン Marche／アビターレ玉川田園調布前庭
- 25日（月） 住宅まちづくり総合相談／三軒茶屋しゃれなあと

1 ハウスカレンダー

- 11日（木） 楽多の会定例会
10:30～12:00 デイ・ホーム玉川田園調布
住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 玉川総合支所
- 14日（日） 玉田シニアサロン
14:00～16:00 玉川田園調布会館
- 15日（月） お隣さまお茶会 vol. 95 再び
13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 16日（火） プレーリヤカーでの公園遊び
10:00～12:30 ねこじゃらし公園
- 17日（水） プレーリヤカーでの公園遊び（タイヤ公園）
10:00～12:30 奥沢公園
- 20日（土） ここからカフェ九品仏 vol. 70
13:30～15:30 九品仏複合施設 2階
- 25日（木） 住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 玉川総合支所
せたがや防災 NPO アクション事務局会議
18:00～20:00 オンライン
- 27日（土） 街角保健室ワークショップ
17:00～19:00 ふくろうクリニック
プレーリヤカーでの公園遊び（ねこじゃらし公園）
10:00～12:30 ねこじゃらし公園

1月号にかかわったひと 伊藤雅春 小西玲子
昆野敬子

みんなでホイッ！

1
2024

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986

Email house@tamamati.com
URL http://www.tamamati.com



no. 339

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人（NPO法人）です。

新年のご挨拶にかえて

追悼 林泰義さん

さよなら 林さん。

昨年の12月8日の夜に林さんが急逝された。本当に突然のことだった。ちょうどその日の日中、NPO法人玉川まちづくりハウスの24回目の総会を開催していた。林さんにもハウスの一年の成果と次年度の計画を聞いて欲しかったが、そこに林さんの姿がなかったのがとても心残りである。

12月10日には、ご家族の手で「林さんに会いに行くかい（会）」、12日には「林さんを送り出すかい（会）」が催された。近しいものが、おしゃれで賑やかなことがお好きだった林さんのために、普段着で、林さんの自宅に三々五々集まって、知り合いの知り合いはみな知り合い…とばかりに歓談し、最後のお別れをするというなんとも林さんらしい暖かい会だった。

玉川まちづくりハウスに関わったすべての人にとって、これまでの時間は、林さんとの出会いがなければなかった貴重なものである。林さんにはハウスが生み出してきたコミュニティの中でこれからゆっくり人生の最後の時間を楽しんで暮らしてもらいたいと思っていたところだった。一所にじっとしてられない林さんは、ハウスはもう大丈夫と思ったのか、次だ、次だ！と思ったのか、慌ただしく旅立って行ってしまった。きっと何か新しく取り組みたいことが見つかったのに違いない。

やや個人史的な林さんとの思い出をミニ年表風にまとめてみた。

- ① 1991年：参加のまちづくりとワークショップ 世田谷の浄水場上の公園コンペで林さんとして初めて出会ったことが、まちづくりNPOとワークショップの世界への入り口だった。

- ② 1995年：阪神淡路大震災 阪神・淡路ルネサンスファンダ立ち上げを目の当たりにして林さんの人脈と専門家としての使命感に驚かされた。
- ③ 1998年：NPOと市民社会 NPO法の成立に向けた努力と玉川まちづくりハウスのNPO法人化に林さんの市民社会への情熱を実感した。
- ④ 2000年：玉川まちづくりハウスの事業化とコミュニティ・デモクラシー 玉川田園調布1,2丁目地区計画への取り組みで林さんはコミュニティに接近する一方で、玉川まちづくりハウスの事業化に僕は苦戦していた。
- ⑤ 2008年：住宅遺産トラストの創設 園田高広邸の継承問題を契機に林さんの関心は、コミュニティ・アセットとその実現に向けて広がっていく。
- ⑥ 2020年：NPOとコミュニティ コロナ禍の中で玉川まちづくりハウスの活動方針を僕はコミュニティに向けて切り替えることにした。林さんにとっては不満だったかもしれない。

亡くなる少し前、タマデン Marcheでお会いした時に「たよりにしているからね」という言葉をいただいた。普段そんなことを口にする人ではなかったので少し意外な気がした。今思えば玉川まちづくりハウスのことだったのか、この地域のコミュニティ・マネジメントのことだったのか分からないが、一抹の寂しさと信頼してもらっているのだといううれしさを同時に感じたことを思い出す。

玉川まちづくりハウスのいく末を、天国からこれからも見守っててください、林さん。

運営委員長 伊藤雅春